



既存の樹木を活かした整備が図られている



園路は生活道路としても利用されている



旧武家屋敷は市民の文化活動の会場に活用されている

## DATA・BOARD ⑨

- ①新潟県村上市区内町319-1
- ②面積：8,206㎡
- ③JR羽越本線村上駅から徒歩約30分、または車で約10分
- ④村上市郷土資料館(おしゃぎり会館)、お城山(村上城跡)、重要文化財若林邸ほか
- ⑤茶道、句会、琴の演奏会



## 9 まいづる公園



「まいづる公園」は、皇太子殿下・妃殿下のご成婚を記念してつくられた公園である。南東方向には舞鶴城(村上城)跡を望み、園内には雅子妃殿下ゆかりの旧嵩岡家のほか、旧岩間家と旧藤井家の武家住宅が復元整備され、村上藩士の生活文化を紹介する歴史文化施設としての位置付けもなされている。

整備にあたっては、ワークショップ方式による地域住民と行政の意見交換が行われた。地元には武家屋敷保存会があり、市内に残る武家屋敷群の保存活動を進めており、公園の整備計画に際しても基礎調査への協力を行っている。

公園は、背後地となるお城山とのイメージを一体化させることに配慮するとともに、石垣、表門、起伏のある周遊園路などにより、景観に変化を持たせている。植栽についても現況保存に留意しながら、生垣などは旧来より使われていた素材を使用している。

整備後は、市民の憩いの場として利用されているだけでなく、歴史的文化遺産の保護と活用にもつながり、旧武家住宅を利用しての茶会や句会などの文化活動も行われている。

また、今回の整備事業により、既存の武家住宅と周辺を結ぶ一体的なルートが確立された。武家住宅の維持管理についても、市内にはこの公園を含めて五棟が整備されてきたことから、材料と職人の確保がシステム化されており、技術の継承も図られている。